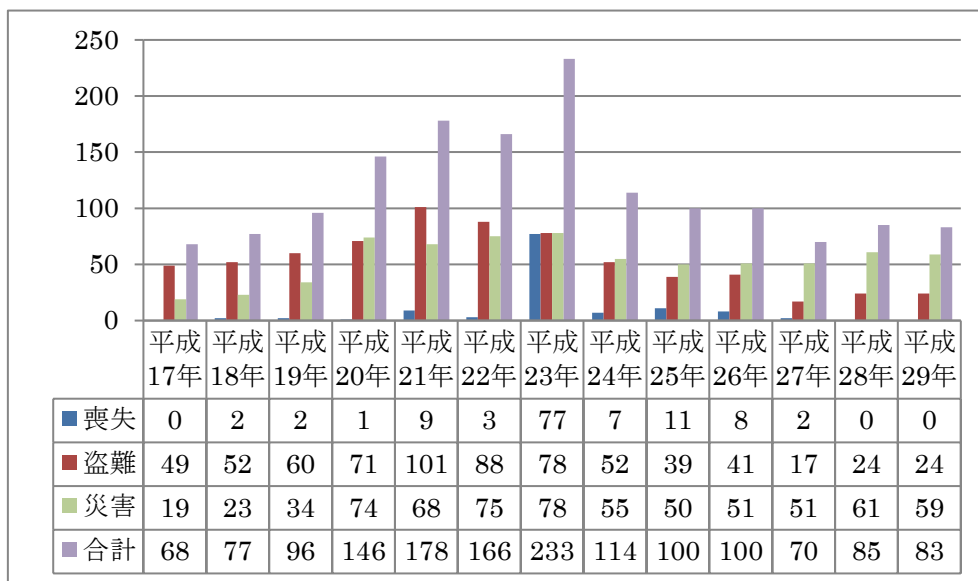


近畿支部管内における高圧ガス関係の事故発生状況

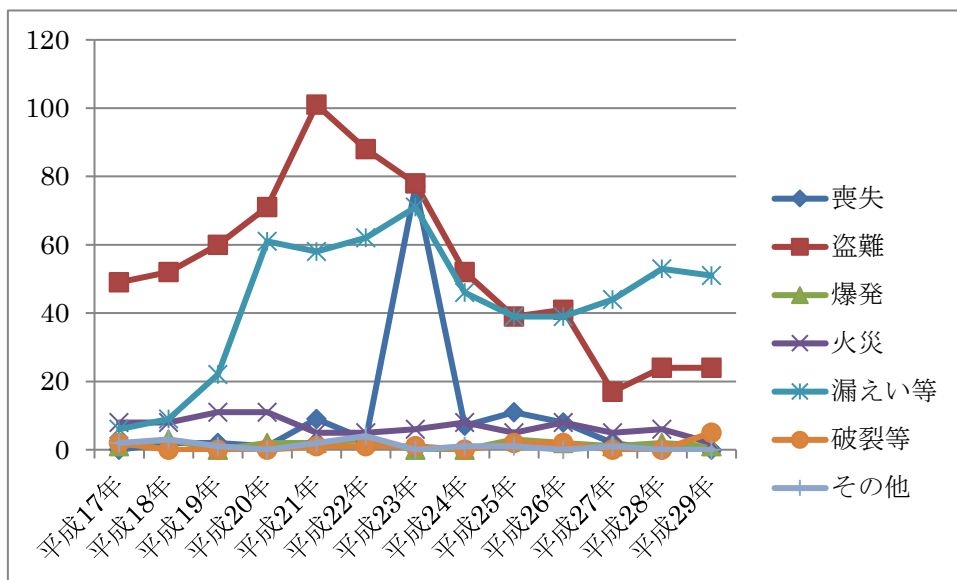
平成 30 年 7 月

中部近畿産業保安監督部 近畿支部 保安課

1. 現象別発生状況

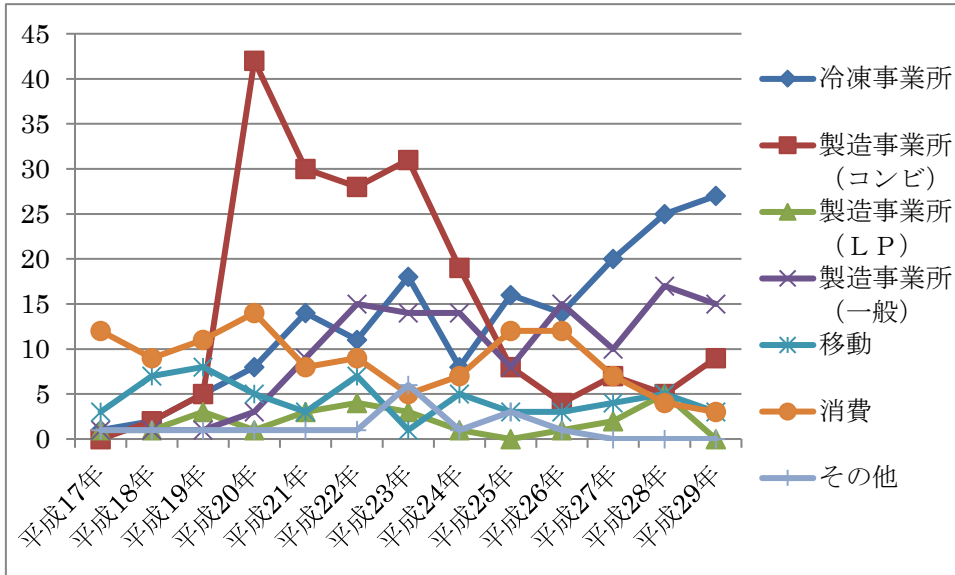


(災害：爆発、火災、漏えい等、破裂等、その他)



・平成 29 年の事故は、前年と比較して件数はほぼ横ばいで、漏えい等は依然高い水準にある。

2. 事故区分（場所）別発生状況 【災害（容器の喪失・盗難以外）】



- ・災害による事故（喪失・盗難以外）を発生場所別に見ると、製造事業所別では、近年、冷凍事業所、一般事業所における事故が多い。平成29年は前年と比較して冷凍事業所、コンビナート事業所における事故が増加したものの、他は減少した。

※用語説明

冷凍事業所：高圧ガス保安法に基づく、冷凍保安規則が適用される事業所

製造事業所（コンビ）：高圧ガス保安法に基づく、コンビナート等保安規則が適用される事業所

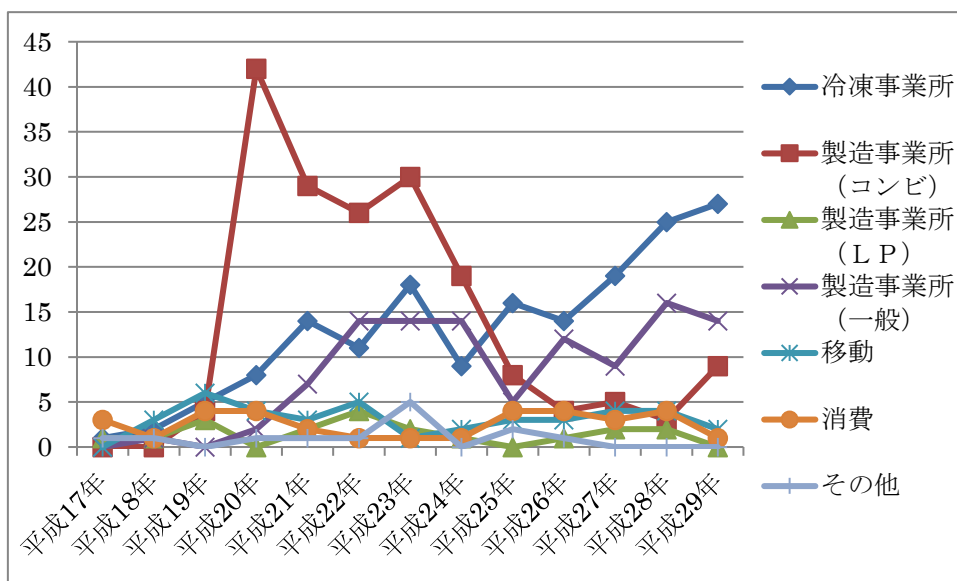
製造事業所（LP）：高圧ガス保安法に基づく、液化石油ガス保安規則が適用される事業所

製造事業所（一般）：高圧ガス保安法に基づく、一般高圧ガス保安規則が適用される事業所

移動：高圧ガス保安法第23条に基づく、高圧ガスの移動に関わる者

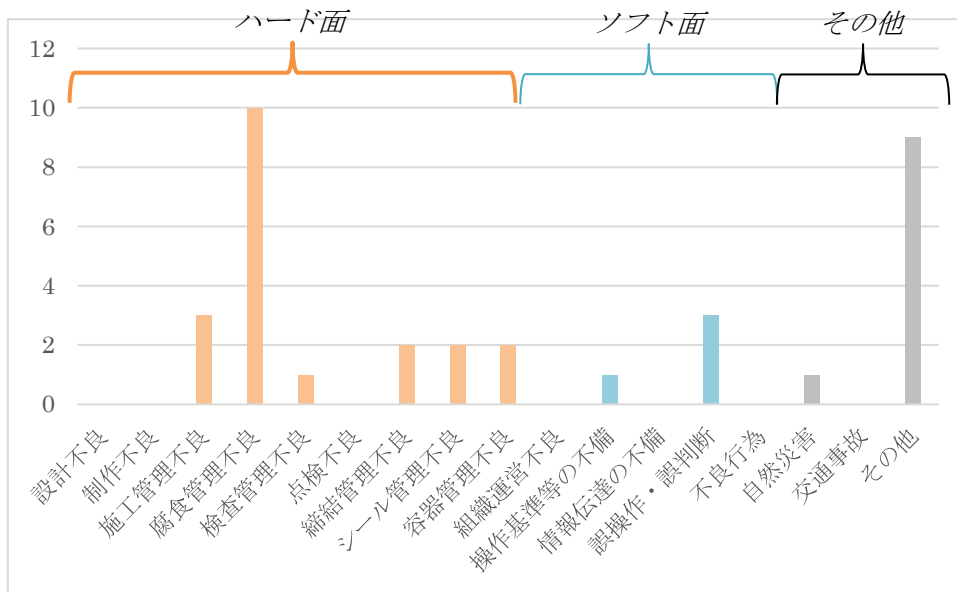
消費：高圧ガス保安法第24条の2及び5に基づく、高圧ガスの消費に関わる者

3. 漏えい等事故の事故区分（場所）別発生状況



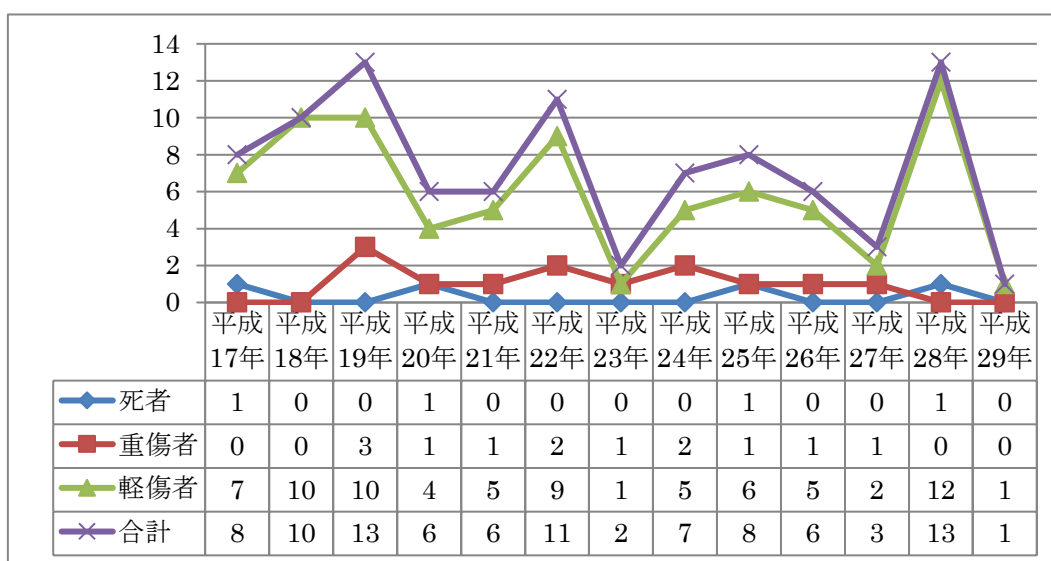
- ・災害による事故（喪失・盗難以外）の内、漏えい等事故について発生場所別に見ると、平成29年において、冷凍事業所、コンビナート事業所における漏えい事故が前年と比較して増加している。
 なお、冷凍事業所、一般事業所における漏えい事故件数は、依然として高い水準にある。

4. 平成29年の主な事故発生原因



- ・平成29年の災害事故について、主な事故原因を見ると、腐食管理不良が10件、その他が9件と多かった。
- また、施工管理不良及び誤操作・誤判断がともに3件、等であった。

5. 死傷者の発生状況



- ・平成29年の事故による死傷者は、死者0名、重傷者0名、軽傷者1名。軽傷者は、熱処理工程で使用しているアンモニアが少量漏れ、これを吸って中毒となった。

まとめ

- ・平成29年の事故は、前年と比較して件数はほぼ横ばいで、漏えい等は依然高い水準にあった。主な事故原因を見ると、腐食管理不良に起因するものが最も多かった。このため、さらなる設備の点検強化や、経年劣化による事故を未然に防止する設備更新計画（IoTやビッグデータ等スマート化技術の導入等）の立案等対策が求められる。

※参考資料（IoTやビッグデータ）：

http://www.meti.go.jp/committee/sankoushin/hoan/koatsu_gas/010_hai fu.html

参考資料 スマート化の基本的な考え方とIoT・ビッグデータ等の活用